

第2回 青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 議事概要

- 日時 令和4年1月26日（水）14:00～16:00
- 会場 WEB開催（zoom）
- 議題 利活用編：利活用WGの協議経過、市民参画イベント（案）について
交通処理編：交通処理WGの協議経過、社会実験の実施について
1. 開会
 2. これまでの検討状況と今後の進め方
 3. 利活用WGの協議経過
 4. 交通処理WGの協議経過
 5. 社会実験の実施について
 6. 市民参画イベント（案）
 7. 第2回協議会後の予定（案）
 8. 意見交換
 9. 閉会
- 配布資料 次第
- 【資料A】本日の出席者一覧
- 【資料1】第2回 青葉通駅前エリアのあり方検討協議会

○主な意見等

【社会実験実施に伴う交通処理に関すること】

（委員意見）

- ・賑わい創出を行っても高速バスの発着場が分散しており、分かりづらいという意見があると、来訪者自体の母数が減少することが考えられる。今回のバス停の移設等の実施にあたっては、こうした観点も忘れず考慮した上で進めて欲しい。
- ・仙台駅周辺にバスタを整備するという報道があったが、これが現実化した場合には、青葉通駅前エリアのバス停は削減されることになるのか。

（事務局回答）

- ・バスタプロジェクトについては国交省で検討が進められており、具体的な場所・規模については検討中である。バスタプロジェクトが今後青葉通のあり方検討とどう絡んでいくかについては、現在はまだ分からない状況である。必要に応じて情報共有をしながら調整をしていきたいと考えている。

（委員意見）

- ・社会実験にあたって、トランジットモール化した場合の通行可能な車両のうち貸切バスの扱いはどうなるのか。
- ・社会実験にあたってはバス停や運行ルートの変更が伴うことでバスの運行における安全

性の確保がバス事業者の大きな負担になる。バス利用者にとっても慣れたバス利用環境が変わることから混乱が想定される。これらについては今後 WG で検討という予定となっているが、バス事業者との事前の協議について十分に実施し、入念な準備をしていただいた上で、利用者への案内・周知についても確実に実施いただくようお願いしたい。

- ・トランジットモールの通行車両については、ぜひ貸切バスを含めて事業用のバス（緑ナンバーのバス）については通行可として欲しい。

（事務局回答）

- ・通行車両の規制については検討中である。規制方法が複雑になりすぎると煩雑になる恐れがあるため、総合的に検討を進めていきたい。
- ・安全確保等については、交通事業者様とは今後も継続して密に協議をしたい。

【社会実験実施パターンに関すること】

（委員意見）

- ・今回はトランジットモール案②のパターンでの社会実験を検討しているとのことだが、トランジットモール案①のパターンで将来的に社会実験を実施する予定はあるのか。

（事務局回答）

- ・①案については現状でそれほど交通への影響がなく、利活用するにあたってバス停を両側に分散することでまとまった空間が得られないということもあり、このパターンでの社会実験の実施は考えていない。
- ・今回は将来の整備の形を決定するものではない。車線を規制し、バス停を移設した場合にどのような影響があるかを検証することが目的である。
- ・実際に整備の形をどうしていくかということについては今回の社会実験の結果を受けての今後の議論になると考えている。

（委員意見）

- ・社会実験案はトランジットモール案②で決定ということかを確認したい。
- ・スケジュールとしては本日の協議会の後に再度 WG にて検討・調整をして決定というプロセスと理解していた。
- ・決定するというのであれば、事前にその旨が「議題」として示されていないのはおかしいのではないか。
- ・なぜ南側（EDEN 側）で車線を多く規制し利活用空間を大きくとるのが理解できない。例えば北側（さくら野側）で車線を多く規制するような案もありえるのではないか。
- ・本日の協議会に出席するにあたって、本日の協議会で社会実験の実施パターンについてトランジットモール案②で決定するということを理解できていなかった。

(学識経験者意見)

- ・交通処理 WG での議論の経緯をご説明させていただくと、前々回（第 4 回）の WG においてトランジットモール案②をベースに検討を進めるということでご了承をいただいている。次に前回（第 5 回）の WG において社会実験の実施パターンについてはトランジットモール案②ということでご了承いただいたと認識している。それを受けて本日の協議会にお諮りしているという流れになっている。

(事務局回答)

- ・WG の段階ではトランジットモール案②で協議会に諮るということ承認いただいたと認識している。本日の協議会で承認いただければトランジットモール案②で決定とさせていただきますこと考えている。

(委員意見)

- ・これまで社会実験のパターンの議論において、案 1 と案 2 の比較については説明があり、案 2 が良いということだったが、案 2 について南北どちらを 3 車線とするのが良いかという比較や検討の過程等については説明がなされていないのではないかと。
- ・前回（第 5 回）の WG で南側に自転車の走行空間を設けても利用者が少ないのではないかという指摘があったが、これを踏まえるとさくら野側を広場化（1 車線で運用）して自転車の走行空間を設け、AER 等の駐輪場を利用する自転車も走行できるようにする方が広場のあり方として良いのではないかと思う自転車の走行空間の視点で考えると北側に利活用空間を広げて南側にバス停を集約させる方が良いのではないかと。

(事務局回答)

- ・交通処理の観点から、北側にバス停を集約する方が効率的ではないかと考えている。
- ・加えて、南側では EDEN 等の既に営業している店舗があり、そこからの人の流れ、民地と一体となった活用が期待できることから社会実験時は南側に利活用空間を設けることが望ましいのではないかと考えている。
- ・自転車の走行空間のあり方については今後議論を深めていきたいと考えている。

(委員意見)

- ・本日の資料での「交通処理 WG における主なご意見と対応方針（案）」のうち「社会実験での実施パターンの検討」の項目にも出ているが、南北の歩道の幅に差異があると、人は歩きやすい側を歩くため、社会実験後もそうした状態が続くのであれば公平性を損なうということをごこれまで申し上げてきた。
- ・決議や議案が事前に示されるべきというご意見はごもっともであり、ある目標に向けて話を流そうとしているという実感を持っている。
- ・反対意見が出なければ反対者はいないという流れは違うのではないかと思う。もう少し慎重に、委員の意見を参考になさって議事を進めていただきたい。

(学識経験者意見)

- ・今回の社会実験は南側を北側より拡幅する形にて実施するが、このエリアの潜在能力を図る場所が今回は南側であるという形で捉えてほしい。利活用を実施し、効果検証や課題を確認したうえで両側の再開発事業に活かしていただきたい。最終的な形状は再開発事業を踏まえて関係者から提案をいただきながら決めていければ良いと思われる。社会実験だけですべて決まる訳ではない。

【利活用に関すること】

(委員意見)

- ・せっかく社会実験を3週間実施するのであれば、今後の青葉通における事業とまちづくりをどう一体的に実施していくかということについてもしっかり検討することが必要ではないか。
- ・3週間継続して同じ内容で実施するのか、来訪する人を見据えて内容を変えていくのかしっかりした議論が必要と思う。事業者さんにとってもどの客層をターゲットにするのかによって連携がしやすくなるのではないかと思う。
- ・今回の社会実験での3週間という期間だけの話ではなく、今後どのように進めていくのかについて、どのような予定を考えているか。

(事務局回答)

- ・3週間の社会実験での利活用については、3週間同じではなく、3回ある土日それぞれで異なったテーマで実施したいと考えている。具体的実施内容については今後の市民参画イベント等での意見も踏まえて考えていきたい。
- ・検討体制や実施に向けた体制については現在検討中であり、そこについても皆様にご報告・ご相談しながら進めさせていただければと考えている。

【あり方検討】

(委員意見)

- ・あり方検討より再開発事業の議論が先行すると考えている。協議会での意見と再開発側の意見がそぐわない場合、どのように考えるか。

(事務局回答)

- ・両側の再開発事業と青葉通駅前区間との連携や一体的な開発ということに対する意見と認識している。
- ・両側の再開発事業はあくまで民間事業であり、必ずしも強制することはないが、青葉通のあり方と少しでも連携をしてもらえればエリア全体の価値を高めることにつながると考え、官民の協議会を立ち上げたという経緯がある。
- ・再開発事業の議論は先行させて進めていただきつつ、あり方検討の議論の中で少しでも連携・一体的な考えができるよう検討いただきたい。

(委員意見)

- ・このままでいいのかということ考えた時に、他都市の事例を見ると、現状を変更するという意味では様々な工夫が必要なものの、公共空間を上手く活用して様々な課題が解決できることも多い。駅前が元気になり、そこから人が滲み出るといようなことを実現するためには「広場化」がキーワードになると思う。
- ・それをやるために、今様々ご意見が出ている課題を解決していき、各委員が少しずつやれることを考え、持ち寄る場だと思っている。
- ・このままではいけないということは共有できていると信じたい。
- ・都市間競争等もあることを踏まえると、なるべく早く各委員からコンセンサスが得られて、様々な課題が解決する糸口にならないといけないと思っている。

(学識経験者意見)

- ・南北の道路空間の構成については、本格的に整備を実施する段階では今の中央分離帯の位置を変更することや車線を振り直すということ自体は可能なはずなので、整備をする時点でできることを検討すれば良いこともあるはず。今回はあくまで、秋頃に社会実験を実施する上で今の時点で実現可能な範囲で実施案を検討した時にトランジットモール②案のような形で実施したいという提案であって、この形で将来の整備も実施していきたいということとは別物であるということについては再度委員の方と確認しておきたい。

(委員意見)

- ・今後の予定で示していただいている将来ビジョンとはどの程度の年次(何年後くらいの状況)を想定しているのか。それによって何度か社会実験を実施するのか、段階的に進めていくのか、まっすぐビジョンに向かっていくのかが変わってくると思う。将来のゴールとしてどのあたりを見据えているのかを教えてください。

(事務局回答)

- ・どの程度の年次を見据えるかについては明示していなかったが、今回の主旨として「青葉通駅前エリアの両側の開発と一体となった」という部分があるため、少なくとも7~10年後での姿というのが1つある。
- ・ただし、7~10年後が完了、むしろそこからスタートであり、どういったまちにしていくのか、賑わいを創出して継続していくのかという部分もあるため、そこも踏まえると、現時点では明確には定めていないものの数十年先であり、少なくとも10~50年後で考えている。

(学識経験者意見)

- ・進め方自体にハッキリしない、問題があるというご指摘があった。これからの進め方については反省すべき点があったと考えており、今後はこうした点にも留意して進めていきたいと考えている。